

第1回奄美市保育人材確保に向けた官民連携円卓会議概要

開催日時:令和6年8月26日(月)14:00~16:15

会場:奄美市 WorkStyle Lab「コワーキングスペースinoo」

出席委員:委員13名全員出席(別添2)

傍聴者数:10名

会次第(別添1)

I 本日の会議の位置づけについて

「円卓会議の全体像」について(資料1)事務局説明。

- 特に質問なし

II 円卓会議の出発点について

「保育施設 人材確保&環境改善魅力向上マトリックス」について(資料2)事務局説明。

- マトリックスについては、奄美市における課題を議論する上でポイントが押さえられており、会議を進めるための基礎とすることを全会一致で確認した。

III 奄美市の保育に関する現状について

「人口関係資料」(資料3)、保育施設の利用児童数・待機児童数等の推移(資料4)、障害児通所支援事業所登録児童数の推移(資料5)、保育士数の推移(資料6)について事務局説明。

●以下主な発言要旨

- ・学生は施設でのアルバイト等を通じて勤務先としての保育施設を見ている状況がある。
- ・確保すべき人材の年齢や人数を具体化し奄美市全体で何人確保する等目標数値を持つといえるのでは。
- ・職員数は多いが、ベテランが多く若い職員が本当にいない。若手の有資格者が欲しい。
- ・支援が必要な児童がいる中で、加配できていない状況。
- ・常勤を希望する保育士が減っているため、短時間の職員を活用しながら回している現状。その中で、短時間勤務職員については、扶養の関係で働ける日数が減少しており、保育士不足になっていると思う。
- ・一日のシフトを「子育て世帯」と「子育てが落ち着いた世代」と半々で組み、子育てしている職員等が休みやすい状況を作っている。
- ・休みたいときに休める保育所にしたい。
- ・療育施設でも待機児童が出ている状況があり、保育士が確保できれば児童を受け入れられる。
- ・無資格の方から採用し、現在は児童指導員、保育士の資格を取り全員資格者になった。

第2回に向けて

- ・人材確保・環境改善魅力向上マトリックス(資料2-2)を基に、保育人材確保策について検討することを確認した。
- ・第2回円卓会議は9月末の開催を予定し、散会としました。